



川村さんと星野さん

世界大会でトルコに行ってきました!



昨年度の全国大会で特別賞を受賞し、今年5月21日～5月27日にトルコで開催された世界大会出場を果たしたのは、現在中学1年生の先輩たち。私立校や塾などの強豪チームがしのぎを削るなか、公立小の単独チームでは日本初の快挙だそう!

「本番ではロボットが思うように動かず力を出し切れませんでした。いろいろな国の人や文化に触れることができ、すごく楽しかったです」「1つのことをこんなに深く考えたのはFLLが初めて。世界大会のプレゼンテーションは全て英語なので、全部暗記して練習しました」と話すのは、中学生になってもアドバイザーとしてチームをサポートしている川村さんと星野さん。競技だけでなく、世界大会ならではの国際交流を大に楽しんできた様子ですね!

この経験が自信となって将来どう花開くのか、今から楽しみです!!



交流会では、外国人の名前を漢字で書き、折り紙と一緒にプレゼントして好評でした♪「セイラ」は「聖良」、「ムスファ」は「霧寿布亜」になりました



レゴを使ったロボット作り

もともとレゴが大好きで参加した子どもたち。「レゴの部品をあれこれ試しながらアタッチメントを改良するのは、大変だけど楽しいよ!」



活発な意見交換

今年のプレゼンテーションの課題は「建築・街づくり」。切り口をどうするか、どう提案するか、話し合いは真剣です!



2分30秒という規定時間内で、ロボットがいかに多くのミッションをクリアし、高得点を取るかが勝負!

試行錯誤の繰り返し



片言の英語でも熱意があれば伝わるのです!



5・6年生7名で構成された、今年度の「チームナリオカネクスト」のメンバー

可能性は無限大! ロボットから広がる世界

板橋区にある成増ヶ丘小学校が世界最大規模のロボット競技会に出場したと聞き、次のシーズンの大会に挑む小学生たち取材してきました!

NARIOKA魂

とある土曜日、学校にお伺いすると、パソコンを操ったり、ロボットの動きを確かめたり、課題について話し合ったり...まるで研究員のような小学生たちの姿を発見!これが「チームナリオカネクスト」の活動風景です。東京都プログラミング教育推進校に指定されている成増ヶ丘小で、「FLL」(※参加を目標にチームが結成されたのは2年前。西谷秀幸校長の呼びかけに応じた希望者が、毎週土曜日に活動を続けています。

現在は、12月に行われる予選大会に向け、メンバー一丸となつて準備を進めています。意気込みを聞いてみると、「とにかく楽しい!」「今年のチーム目標は『切磋琢磨』。お互いの意見を大事にしながら頑張ります」と、前向きな発言ばかり。「意見がまとまらない時もあるけど、学ぶことがたくさんあります」と語るリーダーの武田くんの堂々とした受け答えには、思わず拍手を送りたくまりました!

世界へ飛び出せ!

「二人ひとりが自分の役割を

考えて行動するようになりましたね。特に6年生はすごいぶん成長しました」と話す西谷校長は、「FLL」を評して「これからの時代に必要なのが全て詰まっている」と言います。ロボットの精度を高めるのももちろん、研究成果をアピールするプレゼンテーションやチームワークなど、活動を通してさまざまな力を付けていく子どもたち。「今年の目標は、もちろん世界大会出場!」と声をそろえるみんなの笑顔は、無限大の可能性に満ちあふれていました!成増から世界へ...。Kacceも応援しています!

(※) FLL (ファースト・レゴ・リーグ)

レゴブロックで作られたロボットをプログラミングで動かす世界最大規模のロボット競技会。対象は9~16才で、98か国、約40,000チームが参加。ロボット競技のほか「チーム紹介」「ロボット競技の戦略」「課題に沿った研究発表」の3つのプレゼンテーションの総合点で競います。国内の予選大会には約120チームがエントリーし、2月の全国大会で世界大会出場チームが決定します。